

【別紙】 令和3年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立芝中学校)

(A4判横)

学校教育目標	賢く、美しく、逞しい生徒の育成
目指す学校像	美しい環境の中で、生徒が安心してのびのびと学び合える、爽やかに活力溢れる学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	6名
事務局 (教職員)	1名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 ( 令 和 4 年 2 月 1 日 現 在 )	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	学校経営方針に基づき教師一人一人に情熱と使命感を持たせ、地域とともに生徒を育成する組織を構築する (コミュニティ・スクール) とともに、和やかな中にも規律ある職場環境にすることが課題である。	○当事者意識の醸成 ○ミドルリーダーの育成 ○地域で子どもを育てる意識の醸成	①「すべては子どもたちの笑顔のために」各分掌における自分の役割を自覚をさせるとともに当事者意識を持たせると同時に、ミドルリーダーの育成を図る。 ②地域で子どもを育てる意識を教職員に醸成し、定期的なレクリエーションや諸会議の開催など、PTA、地域、教職員間のコミュニケーションを活性化させ、コミュニティ・スクール設置に向けた準備を推進する。	①トップダウンの指示にならないよう、また当事者意識の醸成のために教職員にアンケートを行ったり、報告・連絡・相談の徹底と共に、評価のフィードバックを適宜行うよう努めた。その結果、ミドルリーダーが育ちつつあると同時に、当事者意識が向上していると感じている。 ②諸会議や校長だより等を通じて、適宜、地域の中の学校であるという意識付けを行った。コロナ禍の中であることからPTA、地域とのコミュニケーションの場の設定は叶わなかった。	B ①人事異動に伴い、各分掌の引継ぎを確実にデータ化し、未経験の分掌でも当事者意識を持って取り組めるようにする。また、ミドルリーダーの育成を継続して行う。 ②PTA、地域との協働場面を意図的に設定し、子どもたちは地域の宝として地域で育てると啓発を継続して行う。
教育課程	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を図り、教科部会を充実させるとともに、GIGAスクール構想によるタブレットPCを効果的に活用し「わかる授業」の実践を積み上げ、確かな学力の定着を図る。	○主体的、対話的で深い学びの視点による授業改善 ○タブレットPC等のICTを効果的に活用した授業展開	①授業において見通しと振り返りの時間を確保し、各教科の「見方/考え方」をもとに生徒自身に考えさせ、協働させる場面を設定することで深い学びにつなげる。 ②GIGAスクール構想に伴うタブレットPCをはじめ、ICTを効果的に活用した授業を展開し、わかる授業の一助とする。	①各種学習状況調査を分析し、各教科の課題を明確にして授業実践をした。授業では「見通し」と「振り返り」、協働場面を大切にすることで、深い学びへつながることができている。 ②出席停止措置や不登校生徒の学習保障として、全教科でオンライン授業を配信する場面が多くなったことで、教員のICTの活用スキルが向上している。ICTの効果的な活用を更に研究し、わかる授業へとつなげていかなければならない。	B ①各教科の研修会に積極的に参加させ最新の教育情報を収集させたり、指導者を招聘して研究授業を行うなど、授業力に努めさせる。 ②タブレットPCのみならず、ICTの効果的な活用について、継続した研修を行う。特に若手教員を指導者としたベテラン教員のスキルアップを図っていく。
開かれた学校づくり	コミュニティ・スクールとして基本学区の小学校と連携し、9か年を見通した生徒の育成を図る。また、地域の力を学校に取り込むとともに、生徒の力を地域へと還元し、地域の学校としての機能を果たす。	○教育活動の積極的な発信 ○地域の力の活用 (学校) ○生徒の力の活用 (地域)	①本校の教育活動をHPや学校だよりを通じて適宜情報発信する。地域のHPとの情報連携、共有を図る。 ②学校行事に地域の力を積極的に取り入れ、教育活動の理解と協力をいただく場面を設定する。 ③地域の行事に生徒を積極的に参加させ、生徒の力を地域への還元する場面を設定する。	①毎月の学校だよりの発行はもちろん、ほぼ毎日HPを更新し、学校状況を適宜発信することができた。 ②コロナ禍にも関わらず、今年度は水上、運動会、合唱コンクール、修学旅行は実施できたものの、地域の力を学校に取り込む場面設定ができなかった。 ③②と同様に、生徒の力を地域に還元する場面を設けていることができなかった。	B ①学校だよりの発行、HPの更新を適宜行い、本校の教育活動を積極的に発信し続け、保護者や地域の方々にご支援いただけるよう努力する。 ②③次年度は「防災教育」を核として、生徒の「共助」の精神の育成を図るとともに、PTAや地域との協働場面を意図的、計画的に設定し、地域への力を学校へ、学校の力を地域へとという双方向の流れを構築する。
教職員の資質向上	教育公務員としての自覚を高めるため、また一人一人の専門性を高めるための研修の充実と積極的な参加を促す。教員個々の目標を把握するとともに、その達成に向けて計画的に授業観察、面談を通じて指導、助言を図ることが課題である。	○服務規律の確立 ○専門性の向上 ○個に応じたスキルアップ	①倫理確立委員会を月2回実施し、教職員へ服務規律の指導を行い、服務の適正化と教職員事故防止の徹底を図る。 ②校内研修において、互いに授業を見合い、指導法の工夫、改善に努める。 ③自己評価シートと面談を通じて「個別の指導計画」を作成・活用し、授業観察や面談を適宜実施し、評価をフィードバックすること繰り返しながら教職員の育成を図る。	①倫理確立委員会の開催とともに、教頭を中心に教職員事故防止のミニ研修を繰り返し、教育公務員としての自覚を促した。 ②ICT活用、ライフスキルに関する研修や道徳に関する授業研究を行ったりすることで、教員の授業力向上に努めた。 ③自己評価シートと共にスキルアップシートを作成し、個々の課題や目標を明らかにし、その視点をもって授業観察することで、人材育成の視点がぶれずに指導を行うことができた。	B ①次年度も校長だよりを活用しながら日々、不祥事・事故防止のための啓発を怠らず、使命感と情熱を持った教職員の育成に努める。 ②③校内研修を通じて、個々のスキルアップと共に、教職員が互いに高め合うことができる取組を実践する。また、各教員のキャリア段階に応じた育成計画を作成し、確実に実施する。
施設・設備等の管理	施設、設備の老朽化が進んでおり、計画的に修繕を施す必要がある。関係部局と連携し、生徒の安全、安心を確保するとともに、地域の防災拠点として機能するよう、さらなる整備を進めることが課題である。	○定期的な点検による事故防止 ○地域の防災拠点としての機能向上	①校内掲示物の充実を図るとともに、月1回の安全点検の確実な実施と管理職による1日2回以上の校内巡回で施設設備の不具合箇所等の早期発見、早期対応で事故を防止する。 ②地域防災会議を開催し、必要事項の確認等、共通理解を図るとともに、防災拠点として必要な設備等について協議し、関係部局に提案等を行う。	①教頭を中心に、安全担当の教員が定期的な安全点検を行い、適切な修繕を行うことで生徒の事故をゼロにすることができた。また、校舎の老朽化が進んでいるため、計画的に大規模の工事をおこなうことができた。 ②コロナ禍のために地域防災会議を開催することができなかった。地域の学校、地域の防災拠点として機能するよう、次年度こそ地域防災会議を実施したい。	B ①安全点検の継続実施とともに、潤いのある学習環境づくりのために、さらに掲示物アップを目指す。 ②次年度は「防災教育」の研究について川口市教育委員会の委嘱を受け、事業員会に防災委員会を新規に立ち上げ、生徒自身が防災意識を高めるとともに、地域と協力して学校が防災拠点となるよう防災サミットを開催する。

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日 令和4年2月28日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
出席者	6名
学校関係者 (教職員を除く)	6名
事務局 (教職員)	1名
・ミドルリーダーの育成計画と達成状況を示してほしい。 ・当事者意識の醸成に関する具体的な方策を示してほしい。 ・PTA、同窓会、後援会とのコミュニケーションを密に、健全な組織経営を望む。 ・教職員の学校評価に対するフィードバックを必ず行うこと。	
・Student Firstの教育で学力向上に邁進してほしい。 ・オンライン授業において、魅力ある授業ができるよう研修の充実を図ること。 ・「わかる授業」「わかりやすい授業」をこれからも推進してほしい。 ・生徒の個性を最大限に伸ばす教材の工夫をしてほしい。	
・今後も地域と連携してオープンな芝中となるよう努めてほしい。 ・地域の力を取り込むことで、生徒が地域に貢献しようとする意識の醸成を図ってほしい。 ・生徒の地域での活躍の場を計画的に設定してほしい。(地域とのコミュニケーション) ・学校だより、HPともに見やすく、読みやすくてよい。	
・芝中生の評判は教職員の努力の証。引き続き教職員の資質向上に期待します。 ・画一的ではない個性豊かな教員の育成に期待します。 ・服務規律の確立に向け、継続的にスキルアップに努めてほしい。 ・日々努力されていることが伺えます。今後も教職員事故の防止の徹底に努めてほしい。	
・生徒の安全確保のため、継続した安全点検、環境整備に努めてほしい。開校80周年に向け、老朽化した箇所改修工事等を計画的に行ってほしい。 ・防災拠点として、地域との連携を密にして施設、設備の維持管理を徹底してほしい。 ・数年前に比べトイレがとてもきれいになりました。	